

“鉄より堅く逞しき”

生徒指導通信 第22号
令和3年10月22日発行
黒沢尻工業高等学校

○「黒工祭」を終えて

10月15日（金）～16日（土）の2日間にわたって、「黒工祭」を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、隔年で行われていた公開での黒工祭は行えなくなってしまいました。しかし、3年生にとっては最後の大きな行事であり、クラス等がまとまる絶好のチャンス逃したくないという思いが生徒会執行部員に芽生え、生徒中心の黒工祭として開催が実現しました。



実際に開催してみて、皆さんはどうだったでしょうか？ニュースポーツを取り入れ、科対抗で競技を行いました。汗だくになりながら楽しんでいる姿は非常に印象的でした。誰でも楽しめるのがニュースポーツの良さです。大人になっても、何かの機会に取り入れて楽しんでみてください。

また、クラス企画やミスコン、未成年の主張については、最初のうちはあまり乗り気でない人が多く、取り組みも鈍かったようです。それでも、いざ始まってみると、それぞれに工夫を凝らして催しを成功に導いてくれました。中には、ミスコンに出場していない人が女装に加わっている光景も見受けられ、特別な盛り上がりがありました。



逆に、つい度が過ぎて物を壊してしまったり、他のクラス企画に迷惑を掛けてしまった人がいたようです。楽しみながらも、節度を持って取り組むことの大切さを感じてほしいです。

今回の黒工祭で得た教訓を今後の学校行事や生徒会活動に生かしていきましょう！

○開校記念日

10月23日は本校の開校記念日です。昭和14年に開校して今年で82年目を迎えました。開校は4月ではないのかと思いますが、昭和17年10月23日に現在の詩歌の森公園・日本現代詩歌文学館がある場所で開校落成式を行ったことで、この日を開校記念日としています。そして、昭和55年4月1日に現在の校舎に移転しています。

『温故知新』と言いますが、この機会に本校の歴史と伝統を振り返ると共に、これから新たな伝統を築き上げるためにも、全校生徒が一致協力して邁進して行くことが大切です。皆さんの頑張りで、より良い黒沢尻工業高校にしていきましょう！

「人の行動を変えよう」というのはおこがましい。環境が変わればスイッチが入って、結果として行動が変わってくる。子供もそうだと思う。やれと言ってもやらない。「やりたくなる」ようなきっかけや環境を作っていくことが大事だ。

by 漆紫穂子(品川女子学院校長)